

本書において、誤記がございましたのでお詫びの上、訂正させていただきます。

頁・番号等	誤	正
<p>40 頁 解説 8 荷造り 縦方向の層数 n の算出式 (分子「W」⇒「h」)</p>	<p>ドラムは原則、金属製ドラムを使用することとし、ケーブルの標準最大巻き付け長さは次式より算定した。 $L=N \cdot n \cdot \pi \{d+\beta \cdot n \cdot \delta+m\} \times 10^{-3} \text{ (m)}$ ただし $N=\frac{W}{\delta+m}$ $n=\frac{W}{\beta(\delta+m)}$ $h=\frac{D-d-2g}{2}$ ここに、L：最大巻き付け長さ (5m 単位で切捨) (m) N：横に並ぶ数 (小数点以下切捨) n：縦方向の層数 (小数点以下切捨) h：巻かれたケーブルのみかけの長さ (mm) δ：標準ケーブルの外径 (mm) m：ケーブル外径に対する余裕 (mm) $50 < \delta \leq 75$ の場合 m=1.5 (mm) $\delta > 75$ の場合 m=2.0 (mm) D：ドラムつば径 (mm) d：ドラム胴径 (mm) W：ドラム内幅 (mm) g：ドラム巻隙 (mm) (トリプレックス g=100mm, 単心 g=55mm とした。) β：縦方向の係数 (β=0.95 とした。)</p>	<p>ドラムは原則、金属製ドラムを使用することとし、ケーブルの標準最大巻き付け長さは次式より算定した。 $L=N \cdot n \cdot \pi \{d+\beta \cdot n \cdot \delta+m\} \times 10^{-3} \text{ (m)}$ ただし $N=\frac{W}{\delta+m}$ $n=\frac{h}{\beta(\delta+m)}$ $h=\frac{D-d-2g}{2}$ ここに、L：最大巻き付け長さ (5m 単位で切捨) (m) N：横に並ぶ数 (小数点以下切捨) n：縦方向の層数 (小数点以下切捨) h：巻かれたケーブルのみかけの長さ (mm) δ：標準ケーブルの外径 (mm) m：ケーブル外径に対する余裕 (mm) $50 < \delta \leq 75$ の場合 m=1.5 (mm) $\delta > 75$ の場合 m=2.0 (mm) D：ドラムつば径 (mm) d：ドラム胴径 (mm) W：ドラム内幅 (mm) g：ドラム巻隙 (mm) (トリプレックス g=100mm, 単心 g=55mm とした。) β：縦方向の係数 (β=0.95 とした。)</p>